

特別インタビュー

認められたい、

受け容れられたい子どもたち

澁谷 明子

いまどきの子ども事情 小学校の現場から

「幼くなった」?

Q 今、「子どもが変わった」ということが各方面で論じられていますが、先生ご自身はこの15年の小学校の現場で何かお感じになつていらっしゃることはありますか?

A 私は音楽専科教師なので、これまで主に4・5・6年生を教えてきましたが、一言で言えば「幼くなった」。他人を思いやるとか、こういう場合はどうだ、と客観性を持つ力が落ちてきていると感じています。精神面ではまだすごく幼いままなのに、身体だけ成長してしまつてコントロールが利かない。今、それゆえの「衝突」がすごくあるような気がしています。

Q 最近いわゆるTeengerがものすごい事件を次々と起こしてますよね。それらの事件を見ると、人を傷つける痛みが分からない、対人関係へのリアリティのなさをすごく強く感じるのですが。

A それが今、一番育っていない部分だと思っています。人と関わった経験が非常に少ないまま来ていていると思います。まず第一に、習い事が一杯で、遊ぶ時間が非常に少ないということもありますし。

でもそれだけじゃなくて、社会の責任もあると思うんです。危ないからこの遊びはやめましょう、手が汚れるから砂遊びはやめましょう、とか、遊びを通して子どもが学べる機会が減つてきている。例えば、今幼稚園や保育園では、ブランコが危ない

という理由でだんだん少なくなつてきているらしいんです。園としては注意していても起きてしまう事故を未然に防ぎたいということがあるんでしょう。でも、ブランコ遊びを通して身につけられる身体機能もありますよね。それから、順番を守つて遊ぶルールを学ぶとか。そういうことを経験できる場が少なくなつてきています。

それと同じように、昔は例えば友達とけん力しても、その中で学び合えたり、地域社会もそれを大らかに受け容れる余裕があったと思うんです。でも今は、けん力をすると大人同士の問題では済まなくて、親同士の問題になつてしまつことも増えてきている。また、幼稚園・保育園で何かあると、それこそ責任問題になつてしまつから、大人もそういうことは未然に防ごうとしてしまふ。その結果、じゃれ合つたり、身体を動かして遊ぶという経験がすごく少なくなつて大きくなつていく。すると、ちよつと自分が不満に思つたり、怒りを感じたときに、例えばそこにグラスがあったら、それこそ凶器になるんですけど、何も考えないで相手の頭をボカリ、とかやつてしまふ。

また、自分の身体を守る力の低下も感じます。例えば今、小学校では顔から転んじやう子が増えているんです。転んで顔を打つ前に手を出せない。だから顔に怪我したり、歯が折れちゃつたりする子が出てくる。そういう意味で、小学校では今、低学年を教えることが年々大変になつてきている

●プロフィール

東京学芸大学音楽教育科卒業 同大学院修士課程修了。

学部に籍中に、文部省派遣留学生としてオーストラリア国立モーツァルトウム音楽大学ならびにザルツブルグ大学の音楽療法コース(2年)を修了。

昭和61年より、東京都小学校音楽専科教諭 現在に至る。



Q それは具体的に?

A もうほんとに基本的なこと。「食べてきてない」とか「寝てない」とか。でも、そこが崩れていると、いろんな場面で影響があります。例えば45分の授業で座つてられない子がいたり、「〇〇をしましよ」と言つても、「イヤだ、やりたくない」とか、「これキライ」と言う。あと疲れて床に寝をべつちやつたりとか。そつなると、先生ももう格闘ですよ。それを何とか育てて、中・高学年に送つて下さつていく。でも、それは本来ならば親御さんが家庭でしつつけて下さる部分だと思つんですが……。

Q でも、そういうことって、ただ単に「勉強ができる」つていう尺度では測れないですよ。

A そう、いわゆる「勉強」の部分とそれ以外の部分がすごくアンバランス。ゲームなんかも、助長している部分がある

Q 今の子どもたちを見てみると、一人一人は決して悪い子じゃないんです。みんなすごくいい子。ただ、どの子も「自分を認めてもらいたい」「愛してもらいたい」という気持ちはひしひしと感します。今、各方面で問題となつていくのは、そんな気持ちの裏返しになつていく気がすごくします。それはもしかすると、家庭で小さいときにお父さん、お母さんから受けたかつた愛情なのかも知れない。それが満たされないまま、思春期に入った時に改めて大人に対して突きつけてくる。何で自分を認めてくれないんだ、認めてほしいんだ、つて、いろんな事件を起こしたりする。

彼らは自分に向き合つてくれる人を探しているんです。それは本来親なんですけど、彼らはそれを親にぶつけれない。それでも学校ではやる。それはどうしてなんだろうと思つんですが、意識の下に「親に捨てられるかもしれない」という不安感がどこかにあるような気がします。

昔の親は、自分の身を犠牲にしても子どもを育てる、という気概があつたような気がしますが、でも今は、私自身の反省も含めてですが、親は自分自身のことを大切にしていますよね。その結果、例えば両親の「離婚」という痛みを経験している子も増

認められたい、受け容れられたい子どもたち

思うんですよ。バーチャルな世界の中ではいろいろな経験をしてますけど、それと実際の経験とはまったく違う。テレビゲームでは、殴られてもその痛みを感じることはないし、画面を切つても一回リセットすれば、死んだはずの人間がまた生き返る。現実はずっとじゃないのに。

えてきている。

そういう中で「今度何かあったらお母さんに捨てられてしまつかも」——どこかでそういう危機感、寂しさがあって、甘いんだけど、お母さんには嫌われたくないから、愛してほしいから、親の前ではいい子にしている。でも、そうすると一方ですごくストレスが溜まるわけですよ。それが学校ですべて放出される(笑)。

子どもも辛いんだと思うですよ。そういう中で子どもたち一人一人と向き合っていくというのは、今の40対1(子どもも40人に対し先生1人)という学校教育システムではとても対応しきれないのが現状です。確かに、40人分の勉強を教え、クラブ活動もあり、なおかつ人間育成もやって……というのは、1人の先生ではどだい無理な話ですよ。

● 1対1になれる ピアノレッスンのやり方

A ならば、ほんとにもっと大人のいろんな人たちが、もちろん最初は親が核になると思いますが、みんなが関わって育てることが必要だと思います。以前は大家族の中で、それぞれに役割があって、お父さんからは怒られちゃったけど、他に救いがあったりとか。そういう中で、いろんな物の見方があって、子どもは社会規範を自然に身につけていくのではないのでしょうか。

今、学校の制度として、小学校では1人の先生がひとつの学校にとどまっていられるのは最大8年。8年を過ぎると他の学校に移らなくてははいけません。ということは、子どもにとっては自分の成長をずっと見つけてくれる先生がいなくていいということなんです。卒業して、あの先生に会いた

いなあと遊んで遊びに行っても、その先生が異動してしまっている、ということがままある。その点、ピアノの先生は違う。それこそ、その子たちが成人するまでをく近い場所で見守っている。

また、子どもというのは自分のことだけを見ていてほしいんですね。40分の1ではなく、1分の1でありたいんです。そういう意味で、個人レッスンの時間というのは自分の全部を見てもらえる。学校でも親の前でも出せないありのままの自分を受け止めてもらえる先生に出会えたら、ピアノのテクニクだけじゃなくて、人生のいろんなことが学べるんじゃないかと思いませんか。

また、音楽ということでは、ピアノのおけいこをやめてしまったんだ、と話してくれた子がいるんですが、やめた理由を尋ねてみると、「指の腱鞘はかりでつままないから」って(笑)。「でも、自分で弾きたい曲はまた弾いてみたいんだ」とも言うんです。その弾きたい曲を尋ねると、SPEEDやモーニング娘。の曲だったりするんですが(笑)。

生涯に渡ってピアノに親しんでいくことを考えると、もちろんきれいな音で、いいタッチで、指がきちんと思うように動いて、ということは大変なことですが、ある程度子どもの「やってみたいな」っていう気持ちに合わせることも時には必要じゃないかと思えます。自分に寄り添ってほしい、自分のやりたいことを認めてほしい……そういう気持ちに対して、何ができるか。そういったことも、これからのピアノ

レッスンには求められると思っんです。単にピアノの技術や音楽の知識を伝授するだけではなく、音楽を通じて子どもを「人間として」育てていくという視点が重要なポイントになると思います。(完)

生徒の音楽的自立をめざすレッスン

☆まもる気あるの？

アヤちゃんが、宿題の曲を弾いていきます。ところが、ちよつと強く、先生の「ストップ」の音がかります。アヤちゃんは、一年生です。

「ストップ! またまちがえた。楽譜の指で弾かなきゃダメですよ!」アヤちゃんはあわてて楽譜に顔を近づけて、指づかいを見ました。そして、弾きなおしました。

でも、ちよつと強く、また先生の声があつきました。

「ストップ! またちがつた!」

「……」

「ほんとに、まもる気あるの?」

「……」

「楽譜を読むときは、音リズムだけじゃダメなの。指づかいかもちゃんと見なくちゃ……。いつもいつてるでしょ?」

「……」

「楽譜にぜんぶ書き入れてあげるから、もういっぺん練習のやりなおし!」

どうやらアヤちゃんは、楽譜に書いてある指づかいを、まもらないで弾いてきてしまったようです。

指づかいをまもらないアヤちゃんが、ほんとに悪いのでしょうか。

☆指づかいを考える

「あつ、ちよつとストップ!」

第五回 江口 寿子 えち かすこ

先生が、ケンイチくんの演奏をどめました。ケンイチくんも一年生です。

「ケンちゃん。その指づかいは、どうしてそのなるの?」

ケンイチくんが楽譜とちがう指づかいで弾いたのを、先生の目は見過ごしませんでした。

「楽譜には4つ書いてあるけど、いまケンちゃんは3の指で弾いたでしょ?」

「だって前の音を2で弾くから、3のほうが弾きやすいもん!」

「ほんと?」

「ケンちゃんの弾き方をくらべてみよう。どっちが弾きやすいかな?」

ケンイチくんは大きくうなずくと、両方の指づかいで弾きました。

「どつ? どつ? どつ? どつ? どつ? どつ?」

「うん。楽譜のほつかな……」

「指づかいを考えるときは、前からだけじゃなくて、後ろからも考えるんだっただでしょ?」

「あつ、そうか!」

先生は、楽譜の指づかいを、「まもりなさい」と命じてもいいはず。それなのに、先生はわざとそうしません。

現象だけを教えるのでよければ、そのときは時間の節約になります。でも、理屈を教えなければ、いつまでたっても自分で指づかいを考えられるようになっ

いきません。

先生は、指づかいのルールを教えて自立させようとしているのです。

6月の新刊&おすすめ本

おすすめの音楽書

●フジ子・ヘミング魂のピアニスト

フジ子・ヘミング 著

ただ今、全国各地でコンサート活動中のフジ子さんの自叙伝です。コンサートは大好評で、アンコールもすごいひと言！読みやすい活字体で、一気に読めちゃいます。カラーページにもうっとり。(求龍堂 1600円 絶賛発売中)

●ある晴れた日に

—オペラとともに生きて

東 敦子 著

世界の桜舞台で「蝶々夫人」を演じてきた東 敦子さんですが、去年のクリスマスに骨癌でお亡くなりになりました。右に紹介している「ふり向けば恵みの奇跡」とともに、自ら書き遺したひとりの音楽家の歴史です。

(平凡社 2200円 絶賛発売中)

●ふり向けば恵みの奇跡

東 敦子 自伝

東 敦子 著

日本人、とりわけ女性で世界を舞台に駆け巡る、それもオペラという世界でということ、東さんは先駆者です。

プリマ・ドンナとして第一線で活躍した方の、遺された言葉を今噛み締める……。女子バウコ会 1300円 絶賛発売中)

* 教本・曲集 *

●ピティナピアノステップ曲集 全15巻

—導入から中級までのピアノ曲集シリーズ—
この曲集は全日本ピアノ指導者協会が主宰する(ピティナ・ピアノステップ)のグレード別に、各巻約40曲程度全15巻に収められています。

第1巻 導入①～導入③

第2巻 導入②～基礎①

第3巻 導入③～基礎②

(保坂千里 編 全音 各800円 6/中)

●ケーラー/小さな手のための20の練習曲

—ツェルニー30番を前に—

ツェルニー30番に入る前までに求められる、自然な演奏技術や表現法を身につけるための練習曲です。(全音 850円 6/中)

●《コレオ版/日本語版》

[R. シューマン/アラバスク Op.18]

(全音 500円 6/中)

[F. リスト/2つの演奏会用練習曲]

(八田博 翻訳/校訂 全音 900円 6/中)

●ピアノパートナー -5歳から100歳までの選曲集-

童謡・唱歌やクラシックの名曲など、次の世代に遺していきたい曲を連弾でやさしくアレンジ。(北村智恵 著 全音 1600円 6/中)

●Begin the piano はじめてのピアノ/教本

中高年のピアノ初心者向けの教本です。譜読みはさておいて、とりあえず弾いてみたいという方におすすめです。

(いとうたつこ 著 全音 1300円 6/中)

●連弾・うたとピアノの絵本 ②ひだりて

「うたとピアノの絵本」をそのまま連弾にアレンジ。②は左手5つの音だけで弾けるうたで構成しています。(呉 暁 著 / 佐藤誠一 編曲 音友 1200円 6/下)

●ベースピアノ教育シリーズ

はじめてのデュエット 1/a, 1/b

この連弾曲集では五線を使わず、鍵盤図と図形イラストで創造的に音楽=ピアノを学んでいきます。(R. ベース 監修 / 神保洋子 編曲 音友 各1400円 発売中)

●【ムジカノウァ】連弾 子供の顔分

ドビュッシー「子供の顔分」を全曲連弾にアレンジ。ひと味違ったドビュッシーが楽しめます。(小嶋貴文 編曲 音友 1500円 6/下)

●ともだちピアノ発表会シリーズ

こどもの(ベートーベン)(ハイドン)(ヘンデル) 6/上

(シューベルト)(シューマン)(メンデルスゾーン) 6/中

弾きやすいピアノ小品を作曲家別に編集。全曲に解説を加えたほか、作曲家の生涯、その時代背景も載せています。

(石丸由理 編 ドレミ 各800円)

●アン・ピアノ・デュエット ①[A&A, B&A]

②[B&B, C&A] ③[C&B, C&C]

(A=バイエル上巻程度、B=同下巻程度、C=同修了からブルグミュラー程度)

譜めぐりなし。グレードの違う人同士でも演奏できます。

(橋本晃一 編 ドレミ 各1000円 6/中)

* ヒット曲& TVテーマ曲 *

●一流ストラテで奏でる

ラブバラードピアノ曲集

「天気予報の恋人」「LOST CHILD」ほか、最新曲をおしゃれなアレンジで。(ドレミ 1500円 6/下)

●ピアノロで弾く TVヒットソング '00-2

「桜坂」「Secret of my heart」「LOST CHILD」ほかヒット曲をセレクト。(シヨイン 1700円 6/中)

●ベストセラー・ヒットソングス

「TSUNAMI」「桜坂」「energy flow」「長い間」などピアノピースのベストセラーを42曲収録。(シヨイン 2000円 6/中)

●デジモンアドベンチャー02

新しくなったデジモン02のオープニング、エンディングテーマを収録。(ドレミ 1200円 6/下)

●ワンピース ピアノソロアルバム

人気アニメ「ワンピース」のタイトルテーマほか全11曲。(ドレミ 1200円 6/上)

●最新TVアニメテーマソング集 '00-2

春からの新作アニメを中心に、子どもたちに人気の曲を満載。(シヨイン 1800円 6/中)

※発売前の商品に関しては予定価格となっておりますので、発売後の価格が若干異なる場合がございます。あらかじめご了承くださいませ。